



スタッフのつぶやき

7月の担当は岡になります(^)

昔から読書が好きで、何かしら読んでいます。電子ブックは頭に入ってこない(!)ので、ブックカバーを付けて書籍を持ち歩いております。

最近はおっぱら、ビジネス系の断捨離や思考法などを読んでいますが、これがまた面白い! ビジネス系の書籍はほんとに内容も数も増えました(^)

書店に入るとついつい長居してしまいます(苦笑) お金が許せば、10冊くらい買って帰りたくります。

私は同じ書籍を2~3回繰り返し読みます。

- 1 回目は、知識として吸収するため
- 2 回目は、自分の過去の出来事を思い出して振り返るため
- 3 回目は、どれか実践出来るものはないか? 行動してみるため

どうも、1回では頭に入ってこなくなりました^^;

老眼も徐々に辛くはなってきましたが、書籍の文字は以前と比較して大きくなっていますから未だ読めます♪

脳は年齢に関係なく成長できるとか・・・ 加齢は仕方ないですが、老化は出来るだけ遅らせたいですね! (営業部 岡 恭弘)



IT雑情報

【Windows 天気を消す方法】

このコーナーではITに関わるいろいろな情報をお届けします。

最近のWindowsで気になることがあります。それは天喜予報です。単に表示だけならそこまで気にならないのですが、

ここにカーソルを乗せると下図の様にニュースやなんやらが結構

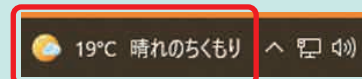
大きめサイズで表示されるのです。

クリックするならまだしも、カーソルを

乗せるだけで開いてしまうので個人的にはあまり好きではありません。

今回はこの天気予報を消してしまう方法をお伝えします。

Windows10の場合



Windows11の場合

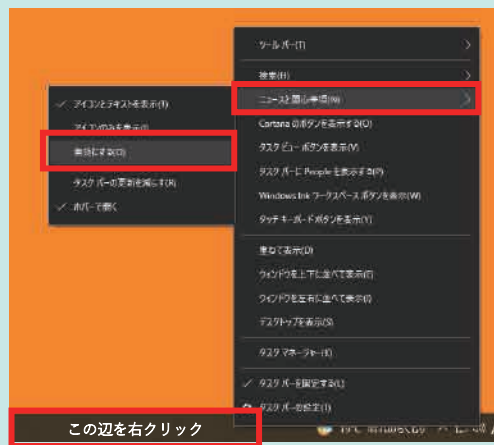


Windows10の場合

1. タスクバー(画面下のバー)を右クリック
2. 「ニュースと関心事項」を選択
3. 「無効にする」をクリック

Windows11の場合

1. タスクバー(画面下のバー)を右クリック
2. 「タスクバーの設定」をクリック
3. 設定画面で「ウィジェット」をオン→オフ



Windows10でこの天気が出てこない・・・
そもそも設定がない場合、古いバージョンのWindows10をお使いの可能性がありますので、WindowsUpdateをお勧めいたします。

読者 訪問



第149回

お伺いした会社	誉田屋源兵衛株式会社
お話を伺った方	商品管理部 課長 宮永 政美 様、経理部 吉田 純子 様
会社の所在地	〒604-8165 京都市中京区室町通三条下る
連絡先など	TEL 075-254-8989 FAX 075-231-5340
事業内容	西陣工芸帯地製造卸
ホームページ	https://kondayagenbei.jp/

今回は創業 284 年を迎えられている誉田屋源兵衛様をお訪ねし、商品管理部の宮永課長と経理部の吉田さんにお話を伺いました。

京都では創業 100 年以上の企業は 1,000 社を超えますが、200 年超となると 100 社あまりだそうで、その存在感に圧倒されてしまいそうです。

同社は現在の第 10 代目山口源兵衛社長がアートディレクターとして帯の制作に力を入れておられ、京都の文化、いや日本の文化を絶やさないために、常に新作を作り続けておられます。



制作現場の様子 (HP から)

構想からものづくりまで一貫して自社でやっておられ、単なる高級品とは異なり、この世にひとつしかない価値あるものにこだわり、日本文化を守るためにいろいろ考えてやっておられます。

2012 年には、山口源兵衛社長がトヨタのスポーツカー TOYOTA86 のイメージキャラクターとして新聞紙面を賑わしました。また、テレビなどにもたびたび出演され、帯にかける情熱を熱く語っておられます。

その独創的な帯は着るだけのものに留まらず、飾り物として高級ホテルに飾られたり、額として使われたり、縁起物としてディスプレイされることも少なくないとか。

また、2018 年にはイギリスのヴィクトリア & アルバート博物館に永久所蔵品として 7 つの作品が収蔵されたそうです。



先代が使っておられた人力車が飾ってありました。

構想から制作まで何十年というものもあるそうですが、常に新作をつくることにこだわり、創業 285 周年を迎える来年には記念する新作を！と頑張っておられるのだそうです。

同社では以前から使っておられたシステムが老朽化してきたのを機にこのたび、『ごふく@』を導入して下さいました。

導入に際しては IT 導入補助金の活用を視野に入れ、第 4 次公募にチャレンジされたのですが惜しくも不採択となり、再度、第 5 次公募で再挑戦して交付決定を受けることができました。

前のシステムがダウンする寸前に入れ替えることができ、また過去のデータの引き継ぎもできたことで助かりましたと言って下さいました。

日本の文化を守るために頑張っておられる同社のシステム運営面でお手伝いすることができ、当社も少しは日本文化継承のお役に立てているのかなと思うと嬉しく感じます。

京都の文化、日本の文化を絶やさないために、ますますご活躍、発展されることを願っております。(米田)



作品の一例
(HP から)



いっちょかみ

“一丁嚙”が行く！

第161回：出版

2 年ほど前、ある出版社から『本を書きませんか?』というお誘いがありました。私はもう 10 年以上も前から本を書きたいという思いがありました。というのは、いつものようにパソコンやスマホを使っていると、急に訳がわからない現象が現れたり、頼みもしないのにいつもと画面が変わっていたり、いつも繋がっているネットに急に繋がらなくなったり、挙げ句の果てに説明書を読もうとネットで検索してみると、怪しげな日本語で書いてあったり……と、ほんとに難儀なことが多々起こるのが IT の世界です。

なので『IT なんてくそくらえ!』というタイトルで反面教師的なことを書きたいと思っていたのでそのお誘いに乗り書くことにしたのですが、いざ書こうと思うとなかなか筆が進みません。出版社の方からは『40 年もパソコンのソフト開発をやってきておられる小規模なソフト会社は多くないので、最終章で書いてもらおうと思っていたサポートさんの歴史から書いたらどうですか』と言われ書き始めたらあれもこれもと書きたいことがあふれ出してきて(笑) 結局、サポート史のようなものになってしまいました。

サポートというちっぽけな会社のことを通して少しでも IT に関する、パソコン活用に関する何かヒントを得ていただけたら大変嬉しく思っています。 [Amazon ペーパーバック 『パソコンの歴史と共に 40 年』 米田 明 著 ¥1,518] (一丁嚙)

編集後記 毎月、月初に編集会議をします。来月号の内容について協議するのですがいつも頭を抱えるのが読者訪問です。何件か候補を選び取材のお願いをするのですがお断りされるところもあり、すんなり決まらないときもあります。最近では 2 回目の登場も増えてきていますが、前回出ていただいてから 5 年～10 年経過しているところも多く、改めて長くやってるなと思っています。